

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
1	味の素株式会社	温室効果ガスの削減	通年 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	工場エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原動設備を中心に高エネルギー効率設備・機器の導入や優先的な運転を実施した。</li> <li>・*冷凍機の高エネルギー効率機への更新を令和2年度中に完了し、令和3年度より営業運転を開始し、確実にCO2削減に貢献した。</li> <li>・工場消費電力に占める割合は少ないが、照明器具の計画的なLED化への推進を図り、消費電力の低減に繋げた。</li> <li>・エアコン以外のHCFC保有設備・機器を計画的に更新し、事業所内の保有は無くなった。引き続き、HFC（代替フロン）保有設備・機器を計画的に地球温暖化係数が低い設備・機器への更新を実施した。</li> </ul>
		技術開発支援・事業支援	通年 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	研究所エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「少ない資源でより豊かな価値を提供する技術」「海外工場への技術支援による環境負荷低減」を目標として設定し、技術開発（基礎研究含む）などを通じて環境への貢献を継続的に具現化する開発（研究）を推進し、海外工場も含めて環境負荷低減に繋げた。</li> </ul>
2	川崎商工会議所	夏の省エネルギー対策クールビズ	5月1日～10月31日 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	所内	所内冷房の設定温度を引上げ、職員はノーネクタイ・ノー上着の軽装で執務
		夏の省エネルギー対策事務所内	通年 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	所内 他	始業前 昼休み中 事務所内の照明消灯 エレベーターホール、トイレ、事務所内の一部にLED照明
		当会館「川崎フロンティアビル」はCASBSクラス認証 *当会館は鹿島建設と当所が所有	平成24年7月竣工 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	川崎フロンティアビル	国土交通所支援のもと（財）建築環境・省エネルギー機構が開発したシステムで省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷削減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能の向上を目的とし建築物の環境性能を総合的に評価・格付けする手法 クラス認証は最高評価
		川崎国際環境技術展 実行委員会 副実行委員長は当所会頭 *同技術展 企画部会は当所企画広報部対応	平成18年度より <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（第1回 同実行委員会より）	第1～10回「とどろきアリーナ」 第11回～「カルッツかわさき」 第13回～オンライン開催	「川崎国際環境技術展」は、国内外の環境問題に即応する環境技術から地球環境問題を解決する最先端の環境技術まで幅広く展示を行い、川崎の地から国内外へ発信し、出展企業・団体と国内外の企業等とのビジネスマッチングの場を提供
		川崎温暖化対策推進会議（C川崎エコ会議） 理事は当所副会頭 *同推進会議 運営委員会は当所企画広報部が対応	平成20年度より <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	川崎市	市民や事業者など川崎市の多様な主体が丸となって取組む温暖化戦略。「Cかわさき（正式名称 カーボン・チャレンジ）」の戦略の基本的な考え方は、環境と経済の調和と好循環を推進し、持続可能な社会を地球規模で実現するため全市をあげて取組むこと。
		「COOL CHOISE」セミナー開催（共催）	平成29年度より <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成29年より）	川崎信用金庫 +オンライン配信	当所メールマガジンにてPR協力
		「COOL CHOISE」賛同	平成29年度より <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成29年より）	川崎フロンティアビル	地球温暖化対策のための国民運動。2030年に向けて、省エネ・炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する快適な暮らしに繋がるあらゆる「賢い選択」をしていく。
		低CO2川崎ブランド等推進協議会 委員は当所副会頭 *同協議会 運営推進部会は当所企画広報部が対応	平成28年度より <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成29年より）	川崎市	市内企業が有する優れた環境技術によりCO2削減につながる製品・技術、サービスを認定・認証する「低CO2川崎ブランド」と「川崎メカニズム認証制度」について、市民、事業者、行政が連携・協働し、それぞれの強みを活かしながらより良い事業への発展を目指す。また、「低CO2川崎ブランド」等の認定・認証製品等の普及が、経済の活性化だけでなく市民生活を豊かにし、温室効果ガスの削減など温暖化対策に寄与するもの。
		当所機関誌による低CO2川崎ブランド募集・結果周知	平成29年度より <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成29年より）	当所機関誌	標記ブランドの募集・結果について当所会員向け機関誌にてPR。優れた環境技術の周知、発掘に寄与する。（市内約6000会員、官公庁、全国主要都市商工会議所等に送付）
ノー残業デイの実施	通年 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	所内	毎週水曜日をノー残業デイとし、原則18時までに退所		

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
3 川崎信用金庫	クールビス・ウォームビスの実施	クールビス 5/1～10/31 ウォームビス 12/1～3/31	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成20年より）	本店及び各店舗	冷房設定温度を引上げ、職員はノーネクタイ等定められた範囲内での軽装で執務しました。 暖房設定温度を引き下げ、職員はインナーウェアやセーター、ベスト等を着用し体感温度を上げる工夫をしました。
	太陽光発電システム導入	10月1日	■ 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	当金庫 中原事務センター屋上	中原事務センター屋上に太陽光パネルを設置。自家消費することで再エネ利用の向上を目指します。
	カーボンゼロの取組みを支援する預金商品の取扱い	通年	■ 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	各営業店	脱炭素への取組みや環境配慮に向けた意識の醸成を意図した定期預金商品を取り扱いました。年度末の契約実績に応じた金額を緑化基金に寄付します。
	カーボンゼロの取組みを支援する融資商品の取扱い	通年	■ 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	各営業店	環境配慮に取り組んでいる企業を対象とした融資商品、環境にやさしい自動車の購入や住宅の購入・建築などにご利用いただける個人向け融資商品を取り扱いました。
	カーボンゼロの取組みへの周知・啓発を目的とした広告物の作成	通年	■ 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	各営業店	カーボンゼロについて説明するスタンドホップや動画、パンフレットを作成しました。お客さまがカーボンゼロについて興味を持っていただくきっかけとしています。
	災害用備蓄品寄贈による食品ロスの低減	7月8日、10月27日	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（令和3年3月より）	営業店用備蓄品	賞味期限が残り1～2年程度のビスケットやクラッカーなどを公益社団法人フードバンクかながわへ寄贈。寄贈品は社会福祉協議会などを通じて、必要とされる方々に随時配布されています。
	環境負荷低減への取組み	2021年4月～9月	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（令和2年9月より）	本部・営業店	コピー用紙（B4/B5）・職員用名刺台紙をFSC森林認証紙に切替えています。
	プラスチック削減への取組み	通年	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（令和3年1月より）	本部・営業店	役職員のプラスチック削減への意識を高めるため、ごみの分別回収ボックスを全店舗に設置し、プラスチックの分別に取り組んでいます。
	オフィス照明LED化	2021年9月～ 2022年3月	■ 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	南太田支店他全8店舗	新店舗・既存店舗オフィス照明のLED化を進めています。
	プラスチック削減への取組み	2021年4月～ 2022年6月	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（令和3年2月より）	本部・営業店	新型コロナウイルスの影響を受ける地元飲食店に対し、紙製のテイクアウト用容器を取り扱う事業者を紹介し、脱プラスチック化を推進しました。

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
4	(株) ケイエスピー	クールビズ、ウォームビズの実施	5月～9月 11月～3月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年より)	事務所内	季節に応じた服装を着用することで、冷暖房エネルギーの消費量提言を図る。
		時間外労働の抑制による電力消費量の削減	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 (平成 年より)	事務所内	可能な限り定時退社する風潮を社内に定着させることで、電力消費量の低減を図る。
5	JFEスチール株式会社	製造プロセスにおける先進技術の導入による省エネルギーの推進	令和3年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年より)	東日本製鉄所 (京浜地区)	生産動向・電力需給見通しを見極め、有効な取組みを実施 ・製造プロセス運用改善による省エネルギー ・発電設備の運用改善による省エネルギー
		節電対策の推進	令和3年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年より)	東日本製鉄所 (京浜地区)	継続的に有効な節電対策を実施 ・クールビズ期間の拡大 ・廊下の消灯 ・空調温度の適正化 ・昼休みの消灯・OA機器停止
6	JFEブラリソース株式会社	容器包装プラスチックのリサイクル	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年より)	全社	容器包装リサイクル制度に則り、各自治体から容器包装プラスチックを受け取り、高炉還元剤、コークス炉化学原料、材料リサイクルを行い、再資源化する。材料リサイクル製品の「NFボード®」は、低CO2川崎ブランドに選定されると共に、川崎メカニズム認証も取得している。
		リサイクルプロセスの効率化による省エネルギーの推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年より)	全社	容器包装プラスチック処理プロセスの効率化により、電気、Cガス、蒸気、化石燃料、用水の削減を図り、省エネルギーを推進している。
		クールビズウォームビズの実施	クールビズ(5月～10月) ウォームビズ(12月～3月)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成21年より)	全社	クールビズでは空調の室温を原則28度、ウォームビズでは20度以下とすることを継続し、節電に努めている。
		事務所節電の実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成21年より)	事務所	昼休みの全消灯、必要時以外の消灯により事務所の節電に努めている。
		工場見学の受け入れ	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年より)	全社	見学者を受け入れ、当社の事業内容を紹介すると共に、容器包装プラスチックリサイクルについて理解頂き、資源循環、環境保全の大切さを啓発している。
		グリーン電力証書	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成27年より)	全社	グリーン電力証書を購入し、CO2削減に貢献する。 バイオマス発電による電力20,000kwhを購入した。
		工場照明のLED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成29年より)	工場	工場内照明、工場周りの照明のLED化により、電力削減を図っている。

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
7 東京ガス株式会社	環境イベントへの出展	①10/10 ②7/18 ③11/22 ④11/6	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (①令和元年より) (②平成24年より) (③平成27年より) (④平成24年より) (⑤令和3年より)	①IJ暮らしこ7i7@中原区【5/30】 ②フレコフェスタ@多摩区【7/18】 ③かわさき企業市民交流Day@川崎区【11/23】 ④おうちで楽しもう「科学とあそび幸せな一日」【リモート開催にコンテンツ提供】 ⑤脱炭素アクションみぞのくち広場【11/6】	①と③…ポリエチレン製ガス管の端材を使っの万華鏡作りのブース出展（リサイクル活動の啓蒙）。体験を通して地球環境問題（温暖化対策）について学んでもらう。 ②…「燃料電池ってなんだろう」の出張講座と「ポリエチレン製ガス管の端材を使っの万華鏡作り」 ④…当社HPの「おどろき！なるほど！ガスワールド」 <a href="https://www.tokyo-gas.co.jp/kids/">https://www.tokyo-gas.co.jp/kids/</a> （子ども向けコンテンツ）にリンクしてもらい、環境イベントに活用いただいた。今回新たに燃料電池動画紹介。 ⑤…市民向けにメタネーションの説明とクイズ
	地球温暖化防止啓発に係る出張授業	通年 (21校、65クラス)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	川崎市内小中学校への上出張授業	授業内容（プログラム）省エネ&食育 ・燃料電池って何だろう（3校、6クラス） ・都市ガスが家に届くまで（1校、1クラス） ・はじめよう！エコ・クッキング（12校、46クラス） ・SDGs関連授業（5校、12クラス）
	事業所内（川崎ビル）の取組	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成26年より）	東京ガス川崎ビル	昼休み時間の職場内消灯、不使用場所の消灯の徹底（共用部人感センサー活用）、ゴミ分別の徹底など、「川崎ビル生活マニュアル（川崎ビル安全衛生環境委員会策定）」に基づき、川崎ビルに働く東京ガスグループ全員（約200名）が省エネ行動を実践。
	地球に優しい「エコ・クッキング」の開催 【環境局_家庭教育学級】	コロナ禍で料理教室閉鎖のため、年度内開催なし。	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成18年より）		●コロナ禍で料理教室が使えなかったため、「はじめよう！エコ・クッキング」の出張授業に、川崎市減量推進課の講話を実施。
	環境に配慮した食の取組	コロナ禍で料理教室閉鎖のため、開催できず。	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成18年より）	キッチンランド川崎【東京ガス川崎ビル】	料理教室「東京ガスキッチンランド川崎」において、料理を通じて身近なエコな取り組みを指導し、ご家庭の環境意識の向上やCO2削減に貢献するもの。 ●環境省「体験の機会のある場」認定事業 ○121教室開催参加人数860人
8 日本電気株式会社 玉川事業場	9号館スマートビル化推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	玉川事業場	9号館を設備リニューアルに併せてスマートビル化構築実施。導入した設備を継続運用。 ・高効率受電設備の更新 ・Low-Eガラス ・外壁遮熱塗料による断熱強化 ・太陽光発電の創エネルギー設備 ・中型蓄電池導入（164kWh）
	照明LED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	事業場LED化 ・約29977灯の蛍光灯をLED化（累積）
	節電対策の推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	①空調・熱源の省エネチューニング改善 ・空調機チューニング 温度・運転時間・間引き運転見直し OAC空調・VAV制御調整 ・冷凍機設定温度変更 ②チラー/ターボ冷凍機（熱源設備）運用改善 ・送水温度変更などによる運用最適化 ③ベース照明の省エネ ・照明間引き ④エレベータ運転台数削減
	高効率空調機への更新	8月～	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	50号館の空調機を高効率空調機へ更新
	変電設備更新及び再編	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	・54号館の変電設備更新（高効率トランス導入） ・40・50号館変電設備更新及び統合化
	省エネ節電啓発活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	①クールビズ・ウォームビズ（通年） ②省エネ委員会開催（2回/年）による情報展開 ③省エネ月間イベント開催（パネル展示）

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
9	NTT東日本 川崎支店	地域の企業のリモートワーク促進	年間を通じて	■新規 □継続（年より）		川崎商工会議所と連携したテレワーク相談窓口対応及びセミナー開催等によるリモートワークの啓発・促進
		出前授業	年間を通じて	□新規 ■継続（2010年より）	川崎市内の中学校	電気通信の仕組みやその環境への効果について理解を深める
		屋上緑化活動	5月～10月	□新規 ■継続（平成22年より）	川崎支店ビル屋上	近隣の保育園たちと協力して、平成22年よりサツマイモや枝豆をプランターを利用して作付けを行い屋上緑化を行っています。
		オフィス内照明のLED化	年間を通じて	□新規 ■継続	川崎支店ビル内	オフィス、廊下等館内照明をLED化し節電を実施
		節電対策	年間を通じて	□新規 ■継続	川崎支店ビル内	就業前、昼休み時間中のオフィス内の照明の消灯 使用していない会議室等、不要な照明の消灯
		社用車の取り組み	年間を通じて	□新規 ■継続	川崎支店	社用車の削減、社用車をガソリン車からEV化へ
		クールビズ・ウォームビズの推奨		□新規 ■継続	川崎支店ビル内	室温の設定温度を「夏場28℃」、「冬場20℃」に設定
		リモートワークの推奨	年間を通じて	□新規 ■継続	川崎支店ビル内	リモートワーク率50%に向けた環境整備
10	富士通株式会社	再生可能エネルギーによる電力供給	令和3年4月	■新規 □継続（平成 年より）	川崎工場全域 富士通クリニック	川崎工場と富士通クリニックに供給されている電力を再生可能エネルギー100%の電力に切り替えを実施した。
		ボイラー設備の新設	令和3年9月	■新規 □継続（平成 年より）	川崎工場 本館（屋外機器）	本館専用のボイラーを新設し、機器効率の向上および設置距離を短くし、既存ボイラー棟からの搬送ロスを減らし、都市ガス使用量を削減した。
		本館事務所フロアの在席人員と連動した空調管理	令和4年3月	■新規 □継続（平成 年より）	川崎工場 本館 事務所フロア	本館の事務所フロアの就業時間外での空調設備運転は、入居者からの事前申請により運転をしていたが、申請時間終了前に従業員が帰宅することもあるため、フロア毎の在籍人数を確認するシステムでフロア内の在籍が0人となった場合は、空調を停止する運用を新たに開始した。
		オフィス照明LED化	令和3年度中	□新規 ■継続（平成28年より）	川崎工場 本館：5階南側、7階南北、8階南側、10階北西側、17階南北、18階北、19階南北	オフィスの照明のLED化を推進。
		海洋プラスチックごみ問題への取り組み	令和3年度中	□新規 ■継続（令和元年より）	川崎工場	社内喫茶エリアでのプラスチック製品の使用廃止。 コンビニのレジ袋を撤廃。 敷地内設置の自動販売機のペットボトル飲料を缶ボトルや紙容器に切り替え。
		栗木山王山緑地保全活動	令和3年6月、11月	□新規 ■継続（平成24年より）	栗木山王山特別緑地保全地区	川崎市が保有する栗木山王山特別緑地保全地区（麻生区）において、保全管理計画の策定から川崎市と協働で管理し、荒廃林の手入れ作業を実施。
		体験の機会の場（環境出前授業）	令和3年9月	□新規 ■継続（平成25年より）	新城小学校	「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づき、環境教育等に取り組む事業所として「環境教育等に係る体験の機会の場」に2013年から認定。  令和3年度は、新城小学校5年生115名に実施。  コロナ対策の一環として事前学習とオンライン授業を組み合わせた授業を実施した。 題材「家庭でできる消費電力を減らす工夫」について、世界の環境問題改善に向けた企業の省エネの取り組みを学んでいただいた。 また、富士通で働く従業員と接し、仕事における苦労、やりがいを知る機会を提供。
		カーボンチャレンジ等々力	令和3年5月	□新規 ■継続（平成21年より）	等々力緑地	川崎市、川崎市公園緑地協会、川崎フロンターレ、富士通川崎工場の4者が合同で二酸化炭素排出量を減らすための活動。 等々力競技場で行われる川崎フロンターレホームゲームにて、飲食売場で使用される容器にリユース食器を導入。
11	ペットリファインテクノロジー株式会社	ペットボトルリサイクル事業	平成20年～	□新規 ■継続（平成20年より）	当社構内	使用済みPETボトルを対象にしたケミカルリサイクルを用い、ボトルtoボトルを実現させることで、二酸化炭素濃度の上昇原因の一つとされる化石燃料消費と、それに伴う二酸化炭素排出の削減に寄与しています。 また、循環可能なPET樹脂を生み出すことで、プラスチックゴミの削減にも貢献しています。

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
12 麻生区クールアース 推進委員会	麻生区役所太陽光発電設備設置18周年記念イベント「気候危機と新型コロナウイルス」	7月10日	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成14年より）	麻生区役所	東京大学教授の高村ゆかり氏の講演会を、講師と会場をオンラインで結び形式で開催した。
	夏休み環境イベント「ペットボトルで風力発電機を作ろう！」	8月7日	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成25年より）	麻生区役所	ペットボトルを使用した工作から風力発電のしくみを学ぶ小学生向けの夏休み環境イベントをオンラインで開催した。
	麻生区民まつり	10月10日 新型コロナウイルス感染症により中止	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成15年より）	麻生区役所	ソーラークッカー等の展示、ソーラーおもちゃから太陽光エネルギーを動力にすることについて体験してもらう。
	おひさまと遊ぼう	11月27日 新型コロナウイルス感染症により中止	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成14年より）	麻生区役所	未就学児を対象に保育園で行っているパネルシアター「ちきゅうがあふない」を実施し、子どもにもわかりやすく地球温暖化を伝える。
	施設見学会	新型コロナウイルス感染症により中止	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成14年より）	環境関連施設	環境関連施設を大型バスでめぐり、地球温暖化対策について考える企画。
	自然エネルギーイルミネーション	12月21日～25日 蓄電池故障により中止	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成17年より）	麻生区役所	太陽光発電によるイルミネーションをクリスマスツリーに点灯する。
	麻生区役所太陽光発電設備設置19周年記念イベント「今、私たちは気候危機にどう立ち向かうのか～人類の未来がかわる2030年～」	2月5日	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成14年より）	麻生区役所	気候ネットワーク理事の平田仁子氏の講演会を、会場とオンラインのハイブリッドで開催した。
	出前授業	新型コロナウイルス感染症により中止	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成16年より）	区内小学校	パワーポイントによる講義「地球温暖化と自然エネルギー」と、校庭等でソーラークッカーやソーラーカー等の体験「おひさまと遊ぼう」を実施する授業を行い、自然エネルギーについて学ぶ。南百合丘小学校より依頼があったが、緊急事態宣言発令のため中止となった。
13 「エコシティたかつ」 推進会議	「エコシティたかつ」推進事業	令和3年度	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成21年より）	高津区内各所	区内市立小学校等で学校ビオトープを活用した環境学習支援、「エコシティたかつ」推進フォーラム、健全な森づくりを体験する「たかつ水と緑の探検隊」（下作延小学校が参加）などを実施した。
	高津区環境まちづくり普及啓発事業	令和3年度	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成21年より）	なし	コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った。
	「たちばな農のあるまちづくり」推進事業	令和3年度	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成21年より）	橋地区を中心とした高津区内	「高津さんの市」においてエコバックの持参を周知した。また昨年度にチラシやパンフレット等の配布をレジ袋の使用を廃止したが、今年度も同様の対応とした。
	花と緑のたかつ推進事業	令和3年度	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成24年より）	高津区役所周辺他	区内各所にコンテナガーデンや花壇を設置し、その維持・管理を区民と協働で行い、花と緑のまちづくりを推進した。
14 川崎市地域女性連絡 協議会	段ボールコンポストの利用推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成23年より）	教育文化会館内 川崎市地域女性連絡協議会事務所	生ごみ堆肥化「ダンボールコンポスト」によりゴミの減量をすすめる。コンポストに必要な基材、段ボール箱などの取り扱いをしている。
	廃食油回収と石けん利用推進	通年	■ 継続（平成11年より）	同上	川崎市民石けんが製造している安心安全な「きなりっこ」の普及啓発
	フードドライブで食品ロス削減	10月5日、1月11日	■ 新規	同上	家庭に眠っている食品を減量推進課からフードバンクへ
	SDGs、及び3Rの体験学習を含めた知識と現状把握のため研修会を実施	7月6日、10月5日	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成11年より）	教育文化会館内 学習室	SDGs研修会を通して、私たちに出来ること沢山ことを学んだ



令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
15 かわさき市民共同おひさまプロジェクト	自然エネルギー設備の設置に係る相談助言事業	随時	■ 継続（平成28年より）	川崎市内	ソーラーシェアリング（管型太陽光発電）に関して制度調査をしたが、生産緑地での実施は制度の壁が高いため、生産緑地以外の農地への設置を目指すことにした。
	太陽光発電設備の設置の推進	随時	■ 継続（平成28年より）	川崎市内	川崎市内の民間福祉施設への太陽光発電設置を目指して、設置可能施設を探し関心度調査を実施した。関心ありの施設のヒアリングを実施したが、設置には至っていない。
	おひさま1号機、2号機対応	随時	■ 継続（平成20年より）	①川崎市国際交流センター ②川崎フロンターレ麻生クラブハウス	1号機の発電量測定を継続し正常に稼働していることを確認している。2号機の集熱量測定ができなくなり、現在調査中である。
	各種イベントにおける普及啓発事業	①9月22日 ②10月30日	■ 継続（平成20年より）	川崎市内	①多摩高校SDGsDaysに参加して、「気候変動対策としての再生可能エネルギー」講座を実施した。 ②オフグリッドログハウス（系統連系しないZEH）見学会に参加し、再エネ・省エネ・蓄エネの勉強をした。
	情報発信事業	①9月 ②2月	■ 継続（平成20年より）	川崎市内	①活動紹介リーフレットを作成し、福祉施設調査や講座で活用した。 ②プロジェクトレターNo.19を発行し、会員及び自然エネルギー事業の協力者に送付した。レターを当プロジェクトのホームページに掲載し情報発信を行った。
	行政や社会への提案・提言事業	①4月19日 ②12月12日 ③12月	■ 継続（令和2年より）	川崎市内	①「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」改定議論に合わせて、川崎市でのCO2削減可能性の勉強会を実施。 ②かわさき環境フォーラム「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」改定案討論会参加 ③改定案へのパブリックコメントを提出
	関連団体との連携した活動	通年	■ 継続（平成28年より）	川崎市内、他	NPO法人市民電力連絡会、CCかわさきエコ会議理事会に参加し、参加団体と情報交換を行った。 川崎地域エネルギー市民協議会の構成団体として、政策提言活動に参画した。
個別事業の支援	通年	■ 継続（令和元年より）	川崎市内	川崎市の公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設置事業を推進している「川崎地域エネルギー株式会社」と連携し、事業の実現をサポートした。	

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
16 グリーンコンシューマ ー普及会議	エコショッピング・クッキングの推進	8/4、8/6	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成15年より）	高津市民館、多摩市民館	普及啓発活動を企画し、「春休み自由研究」「夏休み自由研究」「多摩エコフェスタ」「出前講座」「暮らしのセミナー」等にて子ども対象で行い、他に各種イベントに参加した。
	学校への出前授業	5/15、6/4、6/23、7/9、7/28、8/25、9/7、9/8、10/6、10/22、1/25、2/22、11/1、11/12、11/15、11/19、12/1、12/6、1/15、1/25、3/3	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成15年より）	長尾小、東小田、東生田小、戸手小、東橋中、西丸子小、日吉小、小倉小、福田小、旭町小、田島中学、向丘小、平小、百合ヶ丘小、東小倉小、高津小、上作延小、川中島小、坂戸小、木月小、小田小、中原小	「地球温暖化」「衣食住・食品ロス・エシカル消費」「エコショッピング・クッキング」「旬と地産地消」「食べ物をめぐる旅」「もったいない鬼ごっこ」「環境ラベルゲーム」「エコ暮らしでストップ地球温暖化」「エコ暮らしすごろく」に新規の「SDGsと衣食住」「クイズで学ぶSDGsと食品ロスと水」を加えてPPTを使い講座を行った。
	マイバッグづくり	5月30日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	等々力緑地、	マイバッグに絵柄を描いて、買い物にマイバッグ持参を呼びかけた。
	プレーメン商店街との協働、1店1エコ運動の推進、夏休み自由研究、消費生活展、講演会開催、川崎女性連合との協働、地域グループとの協働、環境フォーラム、環境エネルギー等、各種イベントに企画して啓蒙活動を行う。	7/1、7/4、7/29、9/1、9/17、0/10、11/1、1/14、3/20、	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	高津市民館、福祉パ ルあさお、ラゾ ナ、教育文化会館	行政や市民館の自主学級・商店街等と協働し、自主企画などグリーンコンシューマの普及活動を展開する。WEB参加、講演会実施。「環境ラベルについて知ろう」エシカル消費講座、「プラスチックごみ」「ムダにならない冷蔵庫収納、&食品保存」「Mottainaiパーティ、「FSC木材を使った工作」「国産材や木の話&国産材使用の工作」
	DVDでエシカル消費等を学ぶティータイム	6/23、9/22、9/28、10/27、11/24、12/15、2/23	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	高津市民館	エシカル消費(地球環境や人、社会、地域に配慮した消費行動)の普及活動を、1時間ほど映像を見ながら楽しく学ぶ試みをする。「木づかいで地球を救え」「食卓と海」「コーヒーの秘密」「徹底検証100円ショップ」のDVD等を使用する。
	学校給食用の牛乳パックのリサイクル推進	5/20、6/15、7/8、11/26、12/6、12/8、1/17、1/21	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	川崎中、平間小、東小倉小、南河原小、小田小、西菅小、鷺沼小、宮崎小。	以前はリサイクルされていた牛乳パックが現在の焼却の処理から、再びリサイクルの輪に戻し、3Rと脱炭素社会の取り組みを推奨する。実践する学校の取り組みも出てきたので、広げていきたい。
	オンライン講座での啓発を行う。	8/29、3/20、	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	高津市民館	「環境ラベル」講座



令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
17	(一社)神奈川県トラック協会	ドライバー向けエコドライブ講習会	年6回開催	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年より)	川崎マリエン等 計5箇所	受講者計94名の効果測定を実施したところ、平均で10.6%の燃費改善効果があった。 (平成12年度より延べ受講者4,863名受講)
		エコドライブリーダー養成講座	年2回開催	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年より)	川崎マリエン等 計2箇所	社内のエコドライブ活動を推進する人材の育成を図るため、かながわエコドライブ推進協議会と共催した。
		日常点検講習	年4回開催	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成27年より)	県内4カ所(川崎市外)	エコドライブに必要な日常行う車両の維持管理方法並びに環境に配慮した車両の使用方法を習得するため開催した。
		エコドライブ診断器(セーフティナビ)の貸出し	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		エコドライブ診断器(セーフティナビ)を会員事業者に貸出し、広範的にエコドライブの意識を浸透させた。
		グリーン経営認証制度促進助成事業	6月~2月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		グリーン経営認証制度の普及拡大を図るため、新規認証取得事業者・更新事業者を対象に係る費用の一部を助成した。
		車内ゴミのポイ捨て防止啓発の推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		運転者のモラルの向上並びにグリーン経営認証取得に係る評価項目の従業員に対する環境教育を推進するため、車内ゴミのポイ捨て防止に係るチラシを各種研修会等にて会員事業者に配布した。
		キー抜きロープの普及促進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		アイドリング・ストップを推進するため、会員事業者に配布するとともに、当協会の環境への取組を広範的にPRするため、啓発物として配布した。
		アイドリングストップ支援機器等の助成	6月~2月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		アイドリング・ストップの推進に有効な蓄熱マット・蓄冷クーラー等の普及拡大を図るため、会員事業者に対して導入費用の一部を助成した。
18	川崎新エネルギー振興協会	第14回川崎国際環境技術展	11月16日~26日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成20年より)	オンライン	市内環境産業を国内外に発信する展示会に出展し、当協会の取組情報をオンラインブース上で紹介することにより、当協会のPRおよび新エネルギー技術の普及促進に務めた。
		テクニカルショウヨコハマ2022	2月2日~10日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 (平成 年より)	オンライン	オンライン見本市「テクニカルショウヨコハマ2022」に出展し、当協会の取組情報をオンラインブース上で紹介することにより、当協会のPRおよび新エネルギー技術の普及促進に務めた。
19	一般社団法人 川崎市電設工業会	EV車利用促進活動	2月1日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	(一社)川崎市電設工業会 駐車場	当会駐車場内に電気自動車(EV車)充電設備を設置(充電無料)、会員にEV車への買い替え、利用の促進を図る
		蛍光灯実質製造中止に伴うLED照明への切り替えについての啓発活動		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (令和2年度より)		蛍光灯実質製造中止に伴うLED照明への切り替えについてPRや周知活動を行う
20	(一社)日本フランチャイズチェーン協会	低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」への参加	平成26年4月より継続して実施	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成26年より)	会員企業の店舗	環境省「Fun to Share」に参加し低炭素社会の実現のため、LED照明等の高効率照明、インバータ式冷凍・冷蔵、空調機器等の省エネ機器、太陽光発電装置等の自然エネルギー等の導入を進めることにより省エネルギー対策に取組んだ。
		クールビズの取組み	一律の実施期間の設定を行わず、個々の事情に応じて実施	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成25年より)	会員企業の店舗	地球温暖化防止及び節電対策に貢献するため、会員企業に対してクールビズの取組みを呼び掛けた。会員企業では”店内を適正温度に設定”、”ユニフォームの軽装化”等、各企業がそれぞれの取組みを行った。
		ウォームビズの取組み	一律の実施期間の設定を行わず、個々の事情に応じて実施	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年より)	会員企業の店舗	地球温暖化防止及び節電対策に貢献するため、会員企業に対してウォームビズの取組みを呼び掛けた。会員企業では”店内を適正温度に設定”するとともに、お客様に対して”あたたかい商品”の販売を行う等、各企業がそれぞれの取組みを行った。

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
21	聖マリアンナ医科大学	空調設備更新	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	東館、難治研	老朽化した機器を更新することで設備の効率化を図った。
		照明LED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成28年より)	東館、難治研、教育棟	老朽化した照明をLEDタイプへ更新した。
		非常灯LED化	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	東館、難治研	老朽化した非常灯をLEDタイプへ更新した。
		蒸気のドレイン回収率管理	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	キャンパス全体	機器点検の他、発生蒸気量と還水のドレイン回収率を管理することで、蒸気、ドレイン還水の漏れを判断し、漏れ箇所を修理することでエネルギーロスの削減を図った。
		リサイクル廃棄物容器の使用	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	病院本館、別館	病院から排出する感染性廃棄物容器を使い捨て容器(焼却処分)からリサイクル容器に切替え、CO2の発生抑制を図る
22	公益財団法人川崎市公園緑地協会	節電対策		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)	公園緑地協会事務所	建物内の事務所以外の照明を消灯し、各施設及び事業所も節電を図った。事務所の一部に緑のカーテン(ゴーヤの植栽30m×4m)を設置して室内温度の低減を図った。自主事業「いまこそ!みどりのカーテン大作戦(ゴーヤ)」として緑の活動団体等を対象にゴーヤの苗を提供した。
		地球温暖化対策		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)		公園緑地協会の事業の一環として、緑化推進事業及び普及啓発事業として屋上・壁面緑化等の推進を図った。また公園内花壇への草花植付の拡大及び公園緑地での花と緑の講習会の実施を行い、緑化の推進を図った。
		思い出記念樹「樹繁(きすな)」		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)		市民150万本植樹運動として思い出記念樹「樹繁(きすな)」の配布を行い緑の普及啓発を図った。
		CC等マカエコ暮らしフェア		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)	等々力緑地内等々力陸上競技場周辺	CC等々力エコ暮らしフェアに参加し、草花の種などを配布し、緑化推進を図った。
		「カーボン・チャレンジ等マカ」		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)	等々力陸上競技場	CO2削減として、Jリーグ試合開催時に川崎フロンターレ・富士通川崎工場・川崎市・当公園緑地協会の4団体協同でリユース食器を活用する「カーボン・チャレンジ等マカ」事業を行った。
		年間を通しての環境に関する展示及び講座の開催	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	CCかわさき交流コーナー他	SDGsや脱炭素等も意識し、数か月に一度テーマを変えた普及啓発展示と関連講座を実施した。実施講座に関しては、コロナ禍での開催を考慮し、オンラインでの開催も積極的に取り入れた。また、例年主に小学生を対象とした「夏休み自由研究週間」では、会場とオンラインを併せて27講座を実施し、582名が参加した。
		第9回かわさき環境フォーラム開催 ～脱炭素アクションみぞのくち～	12月11日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成25年より)	高津区役所	市民団体・事業者・行政各部署の協力を得て開催した。今年度に関しては、例年会場としている高津市民館が「ワクチン接種会場等の理由により使用が困難な状況であった為、高津区役所の会場提供の協力を得て実施した。
		脱炭素に向けた普及啓発イベントへの参加	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ※各イベントによる	JR溝口駅他	「ecoフェス(8/5~6)」「脱炭素アクションみぞのくち広場(11/6)」「まなぼう!あそぼう!サステイナブル広場(11/13)」「エルカジまつり(11/14)」「ウィンターキャンペーン(12/12)」に出展し、脱炭素に向けた普及啓発等を実施した。

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
23	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	広報紙やSNSを利用した普及啓発活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	広報紙（エコちゃんず通信 年4回発行）・メルマガ・instagram等を通して、地球温暖化等、環境や脱炭素に向けた情報発信を実施した。
		学校向け環境出前授業の実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	市内小学校等	川崎市地球温暖化防止活動推進員プロジェクトが中心となり、センターと連携しながらSDGsや脱炭素も踏まえながら、地球温暖化や自然エネルギー、3R等についての出前授業を実施した。今年度実績は、延べ92校、児童数11,235名となった。
		小学生向け環境教材の制作	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和2年より）	市内小学校等	主に小学5年生を中心に食品ロスやプラスチックごみ問題等の7テーマに分けたテキストとワークシートを一式にした教材「みんなで作る“暮らしのエコ化計画”」の改版及び教師用教材の制作を実施した。また、今後のChromeブックへの導入も踏まえ、当センターホームページに専用ページでの掲載を行った。
		うちエコ診断	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	あきる野市役所	例年実施している、あきる野市役所に3件実施した。

令和3年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
24	独立行政法人環境再生保全機構	環境配慮のための実行計画の策定と実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成18年より）	執務室内	環境配慮のための実行計画として、以下のIからIXの区分に該当する項目を定め、業務活動がエネルギー及び資源の有効利用を図るものとなるよう、役職員及び各部署で積極的に取り組んだ。イベント等については、コロナ禍の影響からオンラインでの参加となり、デジタルコンテンツ（動画等）の制作が増えたが、制作過程において環境配慮に留意するよう職員だけに留まらず請負先にも意識の改革を求めた。  I エネルギー（電気使用量の削減） II 省資源（用紙類の使用量削減） III 節水 IV 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理 V イベント等の実施における環境配慮 VI ワークライフバランスへの配慮 VII グリーン購入の推進 VIII 温室効果ガス排出量の把握 IX 役職員に対する啓発及び社会貢献
		職員共用エコバッグの利活用	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	廃棄物削減、海洋プラスチック問題、リサイクルの推進の観点から、職員からエコバッグ等を抛出（各種・サイズ）してもらい、近所のお店での買い物やコンビニでの昼食の弁当の買い出し等に利活用する。お店からはプラスチックバッグ等は受け取らないようにする。
		クールビズ、ウォームビズの実施	クールビズ 5/1～9/30 ウォームビズ 11/1～3/31	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	新しい生活様式、新たな業務環境を踏まえ、職員の環境における新たなエコスタイルを模索する。クールビズからウォームビズへ移行期間についても、職員個々のライフスタイルの中から創意工夫を求め、ウォームビズに自然に展開できるように促すとともに参考情報を提供する。また、職場内にポスター等を掲出して啓発を図る。
		夏休み自由研究週間「環境エネルギー・ラボ2021inたかつ」 出展	オンライン：7月29日～8月8日 会場：8月6日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	オンライン・高津市民館	「環境研究ワークショップ」と銘打って、地球温暖化の影響で近年クローズアップされる「熱中症」の予防や対策をテーマに、エコな素材を用いたの扇子作りを行い、楽しみながら学ぶ・考えるワークショップを開催した。作った扇子は、コロナ禍でなかなか会えない家族や友人にメッセージを添えて送り届けた。
		第14回川崎国際環境技術展 出展	11月16日～11月26日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	オンライン等	新たな展開として、事前に催事プログラムに参加し「環境出前授業」を実施した。（南菅小・平間小） 次代を担う子供たちに今起こっている環境問題及びSDGsについて丁寧に伝えた。
25	国立研究開発法人 農研機構・生研支援センター	「クールビズ」の実施	5月10日～9月30日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	センター内	・軽装（ノーネクタイ、ノー上着）での執務 ・居室等の冷房温度の緩和
		省エネルギー対策	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	センター内	・昼休み中、使用していない居室、会議室等の照明の消灯 ・コピー機、プリンタの共有 ・夏期における勤務時間外の冷房使用取り止め（新規）